

東京都立練馬高等学校 同窓会会報



いちよう
とも
银杏の朋

银杏の朋 第18号

2024年10月31日発行

発行：東京都立練馬高等学校同窓会事務局

〒179-0074 練馬区春日町4-28-25

編集：银杏会会報委員会



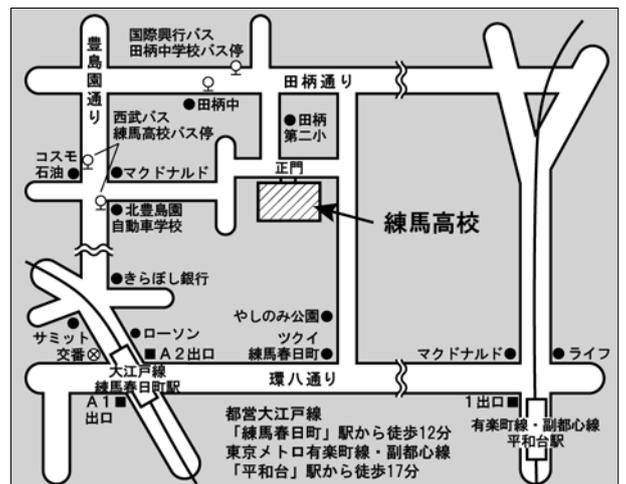
2024年9月8日（日） 银杏祭（練馬高校文化祭）の正門の様子

2024年度同窓会総会のご案内

同窓会の今を知っていただく良い機会です。
現在の運営状況とこれからの活動方針についてお話しします。
ぜひ母校にお出かけください。お待ちしております。

案内図

日時：2024年11月16日（土） 受付：13時30分 開始：14時
会場：東京都立練馬高等学校 1階会議室
議題：活動報告および活動方針
新役員の承認
決算および予算の承認



【出欠登録方法】

- 1. 右記のQRコードから
 - 2. ホームページから <https://www.neritaka.com>
トップ→総会・懇親会→出欠申込とお進みください。
- ※ 当日、直接会場にお越しいただいても構いません。



会長報告

同窓会会長 黒澤 敏明
(10期生)

昨年度から、会長をしている黒澤敏明と申します。

今年度は練馬高校も開校60周年を迎え、記念式典も実施されるなど母校もいろいろと発展しておりうれしい限りです。

同窓会の理事はだんだんと少なくなっています。同窓会に対する期待は高まっています。今年度から新たに入学式や卒業式などの式典でのあいさつをすることにしました。また、開校60周年記念式典でもあいさつをする予定です。さらに、学校運営連絡協議会など参加など役割が増えていきます。これらの活動をするには結構大変です。ただ、文化祭の時に、練馬高校の先生から「同窓会が活動していると学校や生徒にとってもとてもありがたい」という話もあり、また、文化祭の時の同窓会の部屋にもたくさん練馬高校の生徒たちが訪れてくれることなど同窓会の活動をしてよかったですと思うこともたくさんあります。今後同窓生だけでなく、練馬高校の発展に寄与できる活動をしたしたいと思います。

同窓会は以下の活動をしています。

(1) 練馬高校への訪問

4月上旬 入学式への出席および来賓代表あいさつ

4月上旬 第1回理事会の開催

6月中 第1回学校運営連絡協議会への出席

6月中 第2回理事会の開催

9月上旬 文化祭1日目

9月上旬 文化祭2日目

9月上旬 文化祭2日目

10月中 第2回理事会

11月中 同窓会総会

3月中 卒業式への出席および来賓代表あいさつ

3月中 第3回理事会の開催

(2) これ以外に、

・同窓会会報の制作および配布

・文化祭の準備

・同窓会加入者募集

・卒業記念品の準備および配布

・ホームページの管理および問い合わせへの返信など

(3) その他

今年度は60周年記念式典への出席

このような活動をしています。現在、同窓会活動に参加している理事は私を含めて2名という状況になっています。今後は同窓会活動のマニュアルを作り、あまり理事に負担のかからない同窓会活動を実施していこうと思っています。毎年、理事をやってくださる方を募集していますが、集まらないのが現状です。理事をやってもよいという方はホームページからメールで連絡してください。毎年理事の平均年齢は1歳上がります。このままではまた同窓会活動が休止することになると思います。そのような現状を理解してください。今後同窓会としてできることは実施したいと思っています。どうぞ、よろしくお願いたします。

「文武両道の質の向上」を目指して

練馬高校 校長 高 幹明

令和5年度に着任し、練馬高等学校2年目となります高 幹明(こう かんみよん)と申します。同窓会の皆様には、日頃から様々なご支援を頂き、あらためまして感謝を申し上げます。

新年度が始まりました。昨年度から新型コロナウイルス感染症に関しては、季節性インフルエンザと同様の「5類」に移行したことにより、コロナ前を目指した教育活動が展開されております。一方で今年度も基本的な感染症対策は継続し、家庭との連携による生徒の健康状態把握、適切な喚起の確保、手洗い等の手指衛生や咳エチケットの指導は継続しております。

さて、本校の近年における学校改革のおもな取り組みと目指す方向性について、ご説明いたします。まず進路指導についてです。本校に入学する生徒の現状は多様化しており、いかに入学した生徒を3年間の教育活動で、自信を持たせ自らの進路を主体的に切り開いていけるよう、導けるかが大きな教育課題の1つとなっています。具体的には、「総合的な探究の時間」を活用した3年間の系統的な進路活動「夢・人プラン」の推進です。1年次では、職業に対する知識を深め、働くことの意義を考えさせることで、資格取得につながる取り組みです。2年次では、自己の進路ビジョンを具体化し、上級学校等の知識を深め、豊かな経験を積ませる取り組みです。3年次では、進路実現に向けた実践力を育成し、社会人としての必要な資質・感性を養うことで、最終的な進路実現に結びつける取り組み

です。現実的な進路実現の取り組みは、学



みです。現実的な進路実現の取り組みは、学校改革の有効な方策の一つとして定着しています。次に「文武両道」についてです。これまでの管理職のリーダーシップと教職員との連携により、推進校等の取り組みが、入選倍率の向上として改善の兆しが表れています。よって今後は、本校の特色である「文武両道の伝統校」の更なる推進、「文武両道の質の向上」を目指します。具体的には、部活動で真に努力している生徒が、授業等においても模範となる人材をこれまで以上に育成してまいります。練馬高校は、これまで同窓会をはじめとした多くの関係者の皆様に支えられ今日を迎えております。今年度12月には本校において創立60周年記念式典が予定されており、後ますます社会に有為な人材を輩出し、発展していくため教職員一同尽力してまいります。同窓会の皆様におかれましては、引き続きご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

都立高校の伝統を創る

練馬高校国語科教諭

神崎 なつ美

令和6年4月より国語科教諭として着任しました、神崎なつ美と申します。新規採用で練馬高等学校に参りました。新しい環境に戸惑ったり悩んだりする日々ですが、校内ですれ違ったりに明るくあいさつをしてくれる生徒が多い学校という印象を持っています。

大学卒業後から本年3月まで、その大半を私立学校教員として過ごしてきた私ですが、出身は都立高校です。出身校は多摩地区にあり、文武両道かつ自主性を重んじた校風の下、目標に向けて仲間と励んだ経験は今でも大切な思い出です。また、多くの場面での恩師の支えはその後の人生に大きな影響を与えたものでした。練馬高校でも先日体育祭が開催されましたが、生徒自ら楽しい行事を作り上げようという気概が感じられ、授業中の様子とはまた違った姿を垣間見ることができました。

私は前任校で担任も務めておりましたが、担任時代はちょうど新型コロナウイルスが猛威を振るっていた頃で、教育活動には多くの制限がありました。当たり前と思っていたことができないもどかしさを経験したのは私だけではないと思います。時代と共に学校の果たす役割も変化し、従来のやり方が通用しないこともありませんが、生徒と共に学び続け、練馬生の高校生活が人生におけるかけがえのない時間となるように、微力ながらお力添えさせていただきたいと思えます。

同窓会の日頃のご支援に感謝し、歴史と伝統のある学校の一員として、これから精進していきます。

練馬で明るく活発に青春を

練馬高校数学科教諭

宮田 祐希

今年度から練馬高校に勤務させていただきましたことになりました、宮田と申します。昨年までは埼玉にある私立で授業のみを行う、非常勤講師として働いていました。また、私自身も埼玉の私立高校出身であり、都立高校のことは知らない状態での着任となり、新しいことを一つ一つ覚えるので一杯の日々を過ごしております。

練馬高校に来た当初は「なんてにぎやかな学校なのだろう」と思っていました。生徒たちと触れ合っていくにつれ、授業内では活発に発言をしてくれたり、廊下ですれ違うときは元気よくあいさつしてくれたり、明るく活気に満ちた学校生活を送っている生徒が多いと感じるようになりました。また、部活動に関しても活発に活動している部が多いのが印象にあります。例えば軽音楽部では、昨年は全国大会で準優勝していたり、他校との合同ライブを積極的に行っていたりと、私が知っている軽音楽部の活動よりも遥かに突き詰めて生徒たちも意欲的に活動していて、私自身もその姿から学ぶことが多々あります。

勉強が苦手でも頑張ろうと努力をしたり、部活に汗を流したり、行事でクラスや学年の生徒を引っ張ろうと積極的に行動したりと、高校生のときにしか味わえない青春を過ごせるように同窓会の皆様にもお力添えを頂きながら、手を差し伸べることができ教員になっていきたいと思えます。

末筆ではございますが同窓会の日頃からのご支援に感謝いたしますとともに、今後同窓会のますますのご発展をご祈念申し上げます。

記念すべき初任教

練馬高校保健体育科教諭

新垣 百花

今年度から練馬高校に新規採用で勤務させていただきますことになりました、新垣と申します。教員採用試験を突破し第一希望である高校に配属が決まり、楽しみが大きい反面、社会人として自分がやっていたいけるのかという不安もある着任だったことを覚えております。

練馬高校生の第一印象は、とにかく明るく自主的に動くことができる生徒が多いと感じました。入学式や部活動紹介などの行事では、事前準備のシートひき、椅子出し作業など生徒だけで取り組んでいることに驚きました。まだ自己紹介をしていない私に「先生、自分のクラス教えますか？」と元気なあいさつとともに話しかけてくれる生徒がたくさんいました。このような自主性・社会性が養われているのは、日頃の先生方の熱くあたたかい指導、そして保護者同窓会の皆様の支えがあるからだと感じることができています。

私は今年度の体育祭を担当し、貴重な経験をさせていただきました。担当する中で体育祭全体の計画、前準備、日程の決断など大変なことも多々ありました。しかし、生活指導部、体育科の先生方中心に様々な場面で意見をいただき、支えていただきました。練馬高校の教員は、生徒を第一に考え、愛を持って熱く指導できる先生が多いです。練馬高校での教員生活を通して、私も生徒のために熱く、そして温かく指導・語る事ができるよう日々学んでいきます。

同窓会の様々な支援と活躍を先生方から聞いております。感謝申し上げますとともに、今後ますますのご発展を祈念いたします。

書物は語る

練馬高校図書館司書

土屋 淑子

司書の様々な仕事の中で私は「週及入力」という仕事が一番好きです。「週及入力」とは機械化以前に購入した館内の本の目次を1冊ずつデータベースに入力していく地味な仕事です。この作業のおかげで自分が読みたい作家の本、あるいは作品が館内にあるかどうか検索すれば分かるわけです。本は製本されると完成品のように見えますが、20〜30冊に1冊ぐらい校正ミスがあるもので、その場面に遭遇しますとワクワクしてしまいます。

ある夏「藤村全集」(昭和41年発行 筑摩書房)第一巻「若菜集」の入力作業中に貸し出しカードが目に入りました。貸出日1998年10月、返却日1999年1月、第二巻「破壊」1999年1月19日貸し出し、2月9日返却。第三巻「春」…もう止まらない。入力作業をしながら私の意識は学生時代戻ってしまいました。恩師は「作家を知るにはまず、全集を読みなさい」と説く方でした。休憩時間や放課後にレポートには関係がなくても少しずつ読み進めた作家の一人が島崎藤村でした。この本を読んだのは、生徒さんだろうか、先生だろうか、分厚い本に取り組んでいる姿が学生時代の自分と重なりました。

書物は言葉や文字化したものです。声にはなりませんが心に語り掛けてくるものです。それは時空を超えて心に届くのです。本を読む最良の時期というものは人それぞれでしょう。ただ、今私が皆さんにお伝えできることは、高校時代の読書はあなたの人生の『それから』を決めるものですよ、ということなのです。

練馬高校の“いま”

東京情報	1
東京国際	6
東京工科	1
東京家政	1
帝京平成	5
帝京科学	1
帝京	1
多摩	1
拓殖	3
高千穂	4
大東文化	4
大正	2
第一工科	1
聖徳	1
駿河台	4
白百合女子	1
城西	3
城西国際	1
淑徳	3
十文字学園女子	1
実践女子	2
三育学院	1
埼玉学園大学	3
こども教育宝仙	1
国士館	4
共栄	1
神奈川工科	1
桜美林	1
亜細亜	8



東京聖栄	2
東京成徳	2
東京電機	3
東京未来	1
東洋	1
日本経済	3
日本女子体育	1
日本	1
日本文化	2
文化学園	1
文京学院	3
武蔵	1
武蔵野音楽	1
明星	2
目白	2
流通経済	1
【短期大学】	
貞静学園	2
日本歯科大東京	2

進路決定者数	
大 学	94
短期大学	4
専門学校	74
就 職	21
公 務 員	0
進学準備	6
そ の 他	17
合 計	216

令和5年度進路結果

第58回卒業式

2024年3月8日(金)、朝方に降り積もった雪を解かず冷たい雨の降る中、第58回卒業証書授与式が挙行されました。今年度は男子105名、女子111名、計216名が卒業式を迎えました。

卒業式には、東京都議会議員2名を含む7名の来賓と、わが子の晴れ姿を見届けようと多くの保護者が参列し、暖かい雰囲気にも包まれる中で盛大に執り行われました。

卒業生による合唱「旅立ちの日に」では、卒業生が保護者に向かって、無事に卒業を迎えられた感謝の気持ちを伝えるかのように声高らかに歌い上げ、非常に感銘を受けました。卒業生の力強さが心に残る、感動的な卒業式となりました。

卒業式が終わる頃には雨も上がり、卒業生を輝く未来へ導くかのように、太陽が明るくさらさらと輝いていました。卒業生の今後の活躍を期待しています。

同窓会からは、例年同様に卒業生の皆さんへ卒業記念品として「ふくさ」を贈呈いたしました。皆さんに役立てていただることを願っております。

令和5年度入試状況

【推薦】	男女合計	48名	【一般】	男女合計	192名
倍率	2.96倍	倍率	1.38倍		

【スポーツ推薦】	
硬式野球	2名
男子バスケット	3名
女子バスケット	2名
女子バレー	1名



第61回入学式

2024年4月9日(火)、雨風が激しく桜の花を散らす春の嵐の中、第61回入学式が挙行されました。今年度は男子119名、女子120名、計239名の新入生を迎えました。

同窓会からは会長が参列いたしました。また、今年度から同窓会会長が入学式でごあいさつをさせていただくこととなり、新入生と保護者の皆さまへ練馬高校入学の祝辞を述べ、会長の練馬高校での思い出や同窓会の活動などについてお話しさ

せていただきました。入学式も終盤に差し掛かり、在校生による校歌斉唱では、部活動の生徒を中心に100名ほどが体育館の壇上で校歌を熱演しました。在校生の迫力ある校歌斉唱は、新入生を心から歓迎している気持ちも伝わり、大変感動いたしました。

今年度の入学式はあいにくの天気となり、新入生は真新しい制服を雨で濡らしながらの初登校となりましたが、希望に満ちあふれ、さらさらと輝いていました。自分なりの目標を見つけて、3年間の高校生活を有意義に過ごしてほしいと思います。同窓会も全力でサポートします。

出身中学の地区

練馬区	104名
中野区	26名
杉並区	16名
足立区	2名
板橋区	47名
江戸川区	1名
北区	3名
新宿区	5名
豊島区	7名
中央区	1名
港区	1名
清瀬市	5名
西東京市	11名
東久留米市	1名
東村山市	5名
立川市	1名
小平市	1名
三鷹市	1名
その他	2名

令和6年度 教職員異動

転入・新規採用	
鈴木 操	ICT支援員
齋藤 幸子	経営企画室
佐藤 克音	経営企画室
門屋 亜純	経営企画室
鈴木 勇作	経営企画室
金井 盛幸	経営企画室
荒川 基幸	英語
新垣 百花	保健体育科
高瀬 由美	英語
林 大輔	英語
赤嶺 治	理科
宮田 祐希	数学
神崎 なつ美	国語
新規採用	新規採用
石神井高校	石神井高校
東村山西高校	東村山西高校
新規採用	新規採用
青井高校	青井高校
田柄高校	田柄高校
中央区立晴海中学校	中央区立晴海中学校
戸山高	戸山高
農芸高校	農芸高校

転出・退職	
荒木 敦史	練馬工科高校
山下 慎司	教育庁指導部
北詰 凌	高等学校教育指導課
柏木 信幸	退職
門間 隆弘	忍岡高校
馬場 里華	橋高校
橋上 和子	富士森高校
坂本 賀代	拝島高校
下田 倫子	退職
西岡 真澄	東大和南高校
西岡 真由	東部支援センター
渋谷 真由	退職
齊藤 泰成	退職

練馬高校の“いま”

祝・全国大会出場 練馬高校軽音楽部

練馬高校軽音楽部所属の3ピースバンド「詩文」が全国大会出場を成し遂げました。軽音楽部顧問の荒木先生と詩文のメンバーから、同窓会へメッセージが届きました。

全国大会に参加して

軽音楽部顧問 荒木 敦史

2023年11月19日に滋賀県豊郷町で行われた「第11回とよさと軽音楽甲子園」に、軽音楽部2年生3ピースバンド「詩文」が東京都代表として参加しました。この大会は十数年前に一世を風靡したアニメ「けいおん!」の舞台である「旧豊郷小学校(国の登録有形文化財)」にて行われる全国大会で、今回も予選を通過した全国の有名高校生バンドが10バンド集結し熱いライブを繰り広げました。本校軽音楽部も現在では全国有数の軽音楽部として現在は活動していますが、都外で行われる全国大会に参加するのはコロナ禍の影響もあり今回で2度目、緊張感あふれる参加となりました。

結果は「豊郷町商工会長賞」という5位にあたる賞を受賞することができました。本気でグランプリを狙って参加した大会でしたので、結果は悔しさも残るところではありますが、それでも全国の強豪相手に入賞を果たしましたので、十分に満足のいく結果となりました。

今回の遠征では、同窓会の皆さまに、交通費・宿泊費に関して多大なご支援をいただき感謝しております。できればグランプリトロフィーを母校に持ち帰ることができれば良かったのですが、これはまた次回へのお楽しみということでご容

赦くださいませ。

軽音楽部では引き続き60周年を迎える伝統校「練馬高校」の名前を全国に知らしめるべく引き続き一生懸命練習をして頑張っていきたいと思っております。引き続きのご支援をお願いいたします。

全国大会の演奏は以下のアドレスからご覧になれます。詩文の演奏は58分35秒のあたりからご覧になれます。よろしかったらご覧ください！
<https://www.youtube.com/watch?v=ANU7371TP2w>

※全国大会の動画は「第11回とよさと軽音楽甲子園」で検索できます。



今回、詩文という自分たちのバンドが全国大会に出ることができてとてもうれしいと思っております。同窓会の皆さまには、全国大会への参加費を支援していただき、本当にありがとうございます。結果は全国で5位という結果でしたが、全国大会に出られただけで高校生、自分の人生のとても良い思い出をつくることができました。

これらは、同窓会の皆さまが応援、お金の支援など、自分たち詩文のためにたくさんのお手伝いをしてくださったおかげです。

高校生の間で全国大会に行けたことだけでも誇りに思っております。全国大会というのもあり東京では絶対に味わうことのできないことをたくさん経験することができました。

東京では聞くことのない音楽や、関西のお店などという面白いものがたくさんあり自分の中ではとても良い人生経験がすることができました。同窓会の皆さまには本当にお世話になりました！これからも自分たちの応援をどうぞよろしくお願いします。

Dr. 飯田 大仁

今回、とよさと軽音楽甲子園と言う全国大会に出場させていただき、その際の費用を支援していただきありがとうございます。この大会でいろいろと貴重な経験をすることができました。

豊郷小学校のステージは東京とはまた違ったステージで、いつもと違う機材やいつもと違う人たちに見られ、すごく緊張しましたが、それ以上にとても楽しく、演奏中も演奏後も楽しい気持ちでいっぱいでした。僕は初めての遠征で緊張する場面が多く、本来のパフォーマンス

を發揮することができるとも不安だったのですが、バンドメンバーや顧問の荒木先生の助けもあり、とても良いパフォーマンスができたと思っております。また、このような貴重な経験をただの思い出だけでなく、これからの軽音楽部での活動に活かしていきたいと思っております。今回僕たちのためにいろいろな支援をしていただき、そして応援していただき、本当にありがとうございます！

Ba. 松永 楓翔

この度、詩文というバンドで全国大会に出場することができ、とてもうれしく、貴重な経験になったことにも感謝しております。

全国大会本番までは、何回かスタジオに入り、優勝を目指して細かいフレーズをバンドメンバー3人で何度も合わせました。他にも見ている方や審査員の方に曲を楽しんでもらうため、パフォーマンスを考えたりと、演奏の技術だけではなく面白さを考えるのにとっても苦労しました。

本番では少しリハールをしたりして、他県の方の演奏も見ることができ、東京の大会にはない演奏と面白さがあった、新しいことをたくさん学ぶことができました。

全国大会は5位という結果になりましたが、ここまでこられたのは同窓会の方々がお金を出していただき、応援してくださったお陰です。東京では味わえない外の景色や料理、建築物を見ることができて、一生忘れられない思い出になりました！

これからも私たちの応援をよろしくお願いたします！

Key. Vo. 坂元 こむぎ

銀杏会活動報告

2023年9月9日、10日

同窓会として母校文化祭に参加
練高クイズ、新旧校舎の写真の展示、
飲料の販売を行う

2023年10月16日

理事会開催
・同窓会総会の準備について
・3年生の同窓会入会について
・卒業記念品について

2023年11月

母校軽音楽部が全国大会に出場するため
に掛かる費用（交通費・宿泊費）を援助

2023年11月18日

同窓会総会開催
同窓会の活動や会計の報告、校内見学
などを行う。

2023年12月

58期生へ同窓会入会のご案内を配布
58期生の同窓会入会者168名

2024年2月、3月

入学者選抜の合格者へ、合格書類に同封
する形で入学予定者へ同窓会入会のご案内を配布

2024年3月8日

母校卒業式に黒澤会長が参列
卒業生に記念品として「ふくさ」を贈呈

2024年3月22日

新入生招集日において、新入生から同窓
会入会同意書を提出される
61期生の同窓会入会者197名

2024年4月9日

母校入学式に黒澤会長が参列
同窓会代表として祝辞を述べる

2024年4月9日

理事会開催
・今年度の活動方針について

2024年9月7日、8日

同窓会として母校文化祭に参加
練高クイズ、新旧校舎の写真の展示、
飲料の販売を行う

2024年10月31日

「銀杏の朋」第18号発行
2024年11月16日
同窓会総会開催（予定）

銀杏祭参加報告

9月7日（土）、8日（日）に開催され
た練馬高校文化祭「銀杏祭」に同窓会とし
て参加いたしました。

同窓会ブースでは、練高クイズや懐かし
い写真の展示と飲料の販売を行いました。
練高クイズ参加者には、参加賞としてお菓
子を差し上げたこともあり、多くの在校生
や先生方が楽しみながら練高クイズに挑戦
してくれました。

文化祭2日目は一般公開されたこともあり、
にぎやかな銀杏祭となりました。同窓
会ブースにも多くの卒業生や来場者が押し
寄せ、練高クイズに挑戦したり、懐かしそ
うに写真を眺める姿が見られました。
来年も参加を予定しております。皆さま
もぜひ遊びにいらしてください。

銀杏祭で展示した練高クイズを一部ご紹介
します。皆さんもぜひ挑戦してみてください
さい。

【第1問】

練馬高校の校章の由来は「銀杏の葉」で
すが、銀杏に込められた意味とは何でし
ようか？

- ① 東京都の木に指定されているから
- ② 天に向かって限りなく伸びるから
- ③ 街路樹などに多く使われ、多くの人
になじみのある木だから

【第1問のヒント】

1964（昭和39）年3月1日、銀杏の
葉を校章に決定しました。練馬高校の校章
には、次の意味が込められています。

- ・銀杏は天に向かって限りなく伸びる。
・生生発展の象徴である。
- ・下のほうで茎が交差しているのは、男女
の調和を表す。

その後1966（昭和41）年、首都美化
対策の一つとして「緑の東京」実現のため、
東京都の木を制定することとなり、「東京
都の木選定委員会」が設置されました。選
定委員会において選定した3種の候補木
（イチヨウ、ケヤキ、イソメイヨシノ）よ
り、都民からの投票で、イチヨウが東京都
の木に決定しました。

練馬高校文化祭の名称「銀杏祭」も、校
章である銀杏にちなんで名づけられました。
また、同窓会の名称「銀杏会」は、旧校舎
の頃、体育館わきに大銀杏が植えられてい
たことから名づけられました。

※練馬高校20周年記念誌によると、校章の
由来の一つに「銀杏は東京都の木」とあり
ますが、イチヨウが東京都の木に指定され
たのは1966年です。1964年の校章
制定の時点では東京都の木ではなかったの
で、後付けの由来と思われる。

【第2問】

練馬高校は1964年に開校しましたが、
開校当初、現在の地に練馬高校の校舎は
ありませんでした。

練馬高校の生徒は、どこで学校生活を送
っていたのでしょうか？

- ① 石神井高校（練馬区関町北）
- ② 大泉高校（練馬区東大泉）
- ③ 第四商業高校（練馬区貫井）

【第2問のヒント】

1947（昭和22）年から1949（昭
和24）年のベビーブームに生まれた子ども
たちが高校進学を迎え、練馬区の中学PT
A連合会が「西武線の北部に都立普通科高
校を」と強く要望する中で、練馬高校は練
馬区内4番目の普通科高校として創設され
ました。しかし、校地予定としていた場所
が地主の承認を得ていなかったため、買収
交渉が難航し、校舎建設に着手することが
できませんでした。

校地すら未定のまま1期生の募集が行わ
れ、練馬高校の生徒たちは、第四商業高校
内の不要となっていた木造校舎を間借りし
て学校生活を送りました。

紆余曲折の後、校地は1965（昭和
40）年3月29日ようやく練馬区春日町1
12619（現在の練馬高校の場所、現在
は地番改正して練馬区春日町4-28-25）
に確定しました。

翌年1966（昭和41）年3月に校舎が
完成し、3期生の入学と同時期に第四商業
高校の木造校舎から現在の地へ移転となり
ました。

クイズの答えは7ページ左下にあります

同窓会総会報告

2023年11月18日(土)、練馬高校会議室において2023年度同窓会総会が開催されました。

まず、黒澤会長から今後の活動方針についてお話がありました。

卒業生の方々に同窓会を周知させ、同窓会総会への参加者を増やし、大々的に活動していきたいと考えております。現在はホームページでの情報発信を中心に、5年に一度は郵便で同窓会総会のご案内を送りできればと思っております。同窓会役員も毎年1歳ずつ年を取り、同窓会にも高齢化の波が押し寄せてきています。どこまで続けられるか分かりませんが、同窓会を盛り上げていきたいと思っておりますので、皆さまもご協力のほどよろしくお願いいたします。

2023年4月に練馬高校第18代校長として着任されました高幹明校長からは、練馬高校の近況と部活動についてお話しいただきました。

コロナ対策も少しずつ改善されており、学校行事については、ほぼ予定どおり行われております。体育祭、文化祭も生徒たちは一生懸命頑張っており、また本校の軽音楽部に全国レベルの力を持っている生徒がおり、滋賀県で行われる「とよさと軽音楽甲子園」という高校生軽音楽の全国大会に東京代表として出場することになりました。こちらの大会に参加するための費用を同窓会に全面的にご支援いただき、非常に感謝しております。今後も練馬高校の生徒たちへの応援をよろしく願います。

昨年度着任されました堀内副校長先生からは、2年生の修学旅行について話しい

ただきました。

前年度の修学旅行はコロナ禍の影響で、生徒のみでの自由探索や自由行動が制限されていきましたが、今年度はこのような制限がなくなりました。生徒たちも思い思いに計画を立て、自由に探索できたということもあり、非常に満足できた修学旅行だったのではないかと思います。同窓会の皆さまには、引き続きご協力のほどよろしくお願いたします。

続いて、黒澤会長より、同窓会の活動についてご報告がありました。おもな活動は理事会と文化祭、同窓会総会となります。会報は8月に発行し、ホームページに掲載しております。練馬高校への支援については、学校からの希望に応じて10万円を目安に支援していければと考えております。今年度は、軽音楽部が全国大会に出場するための費用12万円を援助いたしました。3月には、卒業生全員に卒業記念品を贈呈する予定です。その他の活動でホームページ運



営がありますが、名簿や卒業生の連絡先についての問い合わせが多く寄せられています。同窓会が連絡先を把握している方であっても、個人情報保護法により、本人の承諾なしに同窓会が個人の連絡先を教えることはできません。如何にしても連絡を取りたいという場合は、同窓会から連絡を取りたい方へお手紙を送りし、問い合わせされた方へ連絡していただくという方法を取らせていただきます。ご理解いただき、よろしくお願いいたします。

続いて、会計報告と予算案についてご報告がありました。収入については、58期生の入会金として50万円ほどの収入見込みとなります。支出については、練馬高校支援として約12万円、会報発行費として約7万円、文化祭、運営費、その他として約7万円となりました。また、外部交渉を行う会報作成者には会報発行時に5千円、ホームページ管理者には毎月2千円(年間2万4千円)を支給することを報告いたしました。

最後に、今後の同窓会の課題について参加者で話し合いました。役員が高齢化していく現状ですので、役員の増員が重要となります。同窓会活動にご協力いただける方は、同窓会までご連絡いただけますと幸いです。また、理事会にZOOMを使用することで、遠方の方も同窓会活動に参加できるのではないかとということになり、今後の検討課題となりました。

以上の内容で、約1時間で総会は閉会となりました。閉会后、希望者は校舎内見学や軽音楽部のライブ見学などを行いました。次回の総会は2024年11月16日(土)を予定しております。会員の皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

新役員紹介

※2023年度の総会で了承された役員の新任等がありました。

- 会長 黒澤 敏明 (10期 76年卒)
- 会 計 黒澤 敏明 (兼務)
- 会 計 監 査 山下 幸雄 (3期 69年卒)
- 顧 問 須藤 勝 (3期 69年卒)
- 名 誉 会 長 高 幹 明 (現校長)
- 名 譽 副 会 長 堀 内 明 子 (現副校長)

お知らせメール配信について

同窓会では、年1回会報を発行しておりますが、予算の都合により全会員へ会報を郵送することができず、同窓会からのお知らせをお伝えすることも難しい状況です。そこで、新たに「練馬高校同窓会お知らせメール」の配信を行うこととなりました。

- 配信の内容はおもに
 - ・同窓会会報発行のお知らせ
 - ・同窓会総会のご案内
 - ・練馬高校文化祭のご案内
 - ・ホームページ更新
 - ・その他、会員の皆さまへのご連絡など、年数回の配信を予定しております。
- お知らせメールの配信をご希望の方は同窓会ホームページ「お知らせメール配信」または左記QRコードから登録ください。

【お願い】
ご登録の際は「heritaka.com」からのメールを受信できるように設定をお願いいたします。



会計報告書

2023 年度 決算報告 (2023 年 4 月～2024 年 3 月)			
収入の部		支出の部	
前年度繰越金	2,663,150	卒業生記念品	170,640
入会金	604,800	練馬高校支援費	119,410
寄付金	0	文化祭出展費	22,325
利息	23	会報発行費	38,176
		同窓会総会費	1,085
		ホームページ維持費	7,852
		ホームページ管理費	22,000
		運営費	66,909
		次年度繰越金	2,819,576
合計	3,267,973	合計	3,267,973

2024 年度 予算書 (2024 年 4 月～2025 年 3 月)			
収入の部		支出の部	
前年度繰越金	2,819,576	卒業生記念品	200,000
入会金	600,000	練馬高校支援費	200,000
利息	23	文化祭出展費	20,000
		会報発行費	50,000
		同窓会総会費	10,000
		ホームページ維持費	10,000
		ホームページ管理費	24,000
		運営費	70,000
		次年度繰越金	2,835,599
合計	3,419,599	合計	3,419,599

事務局より

同窓会ホームページのご案内

同窓会ホームページでは、活動報告やお知らせなどを随時更新しています。同期会の報告やイベントの告知など、卒業生からの情報も掲載できますのでご活用ください。
ご意見・ご質問・登録情報変更も「お問い合わせ」からお気軽にどうぞ。
スマートフォンやタブレットにも対応しています。
ぜひアクセスしてみてください。

同窓会ホームページアドレス：
<https://www.neritaka.com>

練馬高校同窓会

検索



同窓会への連絡方法

ご意見・ご希望・ご質問などは下記までお寄せください。
会員の皆さまからのお便りもお待ちしております。

◆ホームページ

「同窓会へのお問い合わせ」からご連絡ください。

◆メール

info@neritaka.com までご連絡ください。

◆郵便

下記住所まで、はがきか封書でご連絡ください。

〒179-0074 練馬区春日町4-28-25 練馬高校同窓会事務局

ご注意とお願い

◆同窓会が電話などを使って卒業後の進路、勤務先、住所などを確認することはありません。業者が同窓会の名をかたり、調査をすることがありますのでご注意ください。

◆同窓会が特定の企業に会員情報を提供することは一切ありません。ご注意ください。

◆理事としてお手伝いしてくださる方を常時募集しています。
ほんの少しの援助が大きき力になります。
また理事としては難しい方でも、イベントなどで人手が必要な時にお手伝いしてくださる方も募集しています。

お手伝いいただける方は同窓会事務局までご連絡ください。

同窓会への寄付について

同窓会は卒業時の終身会費とご寄付で運営されています。
同窓会会員とのつながりのための事業維持や母校支援のため、ご寄付は大歓迎です。ご協力のほどお願いいたします。

◆銀行振込

みずほ銀行 麹町支店 普通預金 1479353

口座名：ネリマコウコウドウソウカイ

振込人名に卒業回または卒業年、氏名をご記入ください。

例：28ネリマハナコ 1994ネリマハナコ

◆現金書留

練馬高校同窓会事務局宛てにご送付ください。

※同窓会は任意団体のため、寄付控除の対象にはなりません。

私は、諸事情により2024年1月12日
をもちまして、同窓会理事を辞任いたしま
した。1997年に理事となり、ホームペ
ージ管理の担当として、2017年からは
ホームページ管理、名簿管理、会報編集の
担当として27年間活動を続けてまいりまし
た。現在は業務を引き継いでまいりませ
ず、お手伝いとしてホームページ管理と会報編
集を行っております。
練馬高校近辺の旧第3学区の高校では、
活発に活動している同窓会も数多く見受け
られます。活発に活動している他校同窓会
は、理事が多数で手広く活動しています。
同窓会活動への協力者や同窓会総会への参
加者も多く、会員(卒業生)の皆さんが同
窓会に関心を持っています。
しかし練馬高校同窓会は、ホームペー
ジからの問い合わせや同窓会への要望は手
に余るほど届きますが、協力者は一向に現れ
ず、同窓会総会参加者もごくわずかです。
1人に作業が集中する活動は、必ず破綻を
きたします。
また、SNSが発達した現在、高校を卒
業しても仲の良かった人たちは何かしら
でつながりがあり、電話や手紙を使わずと
も簡単に連絡を取ることができます。直接
的な連絡先を知らずとも、友達の友達がつ
ながっているなどで、SNSを用いた同期
グループが簡単に作成できる時代となりま
した。だからこそ、若い世代では同窓会の
必要性を感じない人も少なくありません。
現在の同窓会運営は改善すべき点や検討
すべき課題が多々あります。しかし、この
まま理事の成り手や協力者が現れないなら
同窓会の解散を考える時期なのかもしれま
せん。同窓会の在り方を皆さんもご一考い
ただければ幸いです。